

2. 施設及び燃原料（1施設毎に記入して下さい）

(1) 施設について

施設番号

工場・事業場における施設名称等

B 0

0011号ボイラー

(注) 登録済みの施設番号は変更できません。

施設種別

施設

設置年月

設置規模

将来廃止予定年月

法等区分

条例

1

2204

02

500

02

1時間当り最大排出ガス量(湿り)
[Nm³/h]

前期(4月～11月)間の排出ガス量(湿り)
[1000Nm³]

後期(12月～3月)間の排出ガス量(湿り)
[1000Nm³]

測定状況

年度間の排出ガス量(乾き)
[1000Nm³]

平均酸素濃度 [%]

平均水分 [%]

操 炉 状 況

50000

50000

0

5

35000

6.0

6.2

200

0900

1730

0

0000

0000

生産量

製造形態

最大生産量
(1時間又は1ハッチ当り)
(固体又は液体製品kg、気体燃料Nm³)

年間生産量
(固体又は液体製品ton、
気体燃料1000Nm³)

主 要 製 品 名

燃 料 種 別

製品としての燃料の供給先の施設番号
(自社内のみ)

B 3

0

0

コウキョウユウキカイ

B 4

3. 月別稼働日数(1施設毎に記入して下さい)

前期（非暖房期）

後期（暖房期）

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

03

07

00

00

12

00

00

00

00

00

00

00

(2) 煙突について

煙突形態

煙突番号

ガ各ス煙分突配への割合

煙突位置

高さ

口径

排ガス湿度

煙突群記号

空気余熱有無

C 0

2001

13011000335012

100

3.0

200

B

1

C 1

C 2

C 3

C 4

(注) 登録済みの煙突番号は変更できません。

(4) 燃原料について

種別

硫黄分
(年度間の加重平均値)
[%]

窒素分
(年度間の加重平均値)
[%]

比重
(年度間の加重平均値)

高発熱量
(年度間の加重平均値)
(kcal/kg、kcal/Nm³)

1時間当り最大燃原料使用量
(届出ベース)
液体[L]、気体[Nm³]
固体[kg]、電気[kWh]

1時間当り通常燃原料使用量
(届出ベース)
液体[L]、気体[Nm³]
固体[kg]、電気[kWh]

E 0

13

0.8000

0.1400

0.9000

10000

4000

3000

E 1

E 2

E 3

E 4

E 5

E 6

E 7

E 8

(種別が19、25、46の場合、燃原料の具体的名)

(3) ばい煙対策について

連続測定状況

ばい煙濃度
SOx[ppm]
NOx[ppm]
ばいじん[mg/Nm³]

算出の区分

ばい煙の1時間当り通常排出量
SOx[Nm³/h]
NOx[Nm³/h]
ばいじん[kg/h]

前期(4月～11月)におけるばい煙排出量[kg]

後期(12月～3月)におけるばい煙排出量[kg]

除去策
低減対

製品脱硫効率 [%]

処理施設番号

処理施設種類

処理能力
[Nm³/h]

効率 [%]

稼働時間
[h]

D 0

1

300

1

9000

6000

0

A

0.00

01

A

0

0.00

8

D 1

D 2

2022 年度（実績）

前期（4月～11月）における燃原料使用量
液体[kL]、気体[1000Nm³]、固体[t]、電気[1000kWh]

後期（12月～3月）における燃原料使用量
液体[kL]、気体[1000Nm³]、固体[t]、電気[1000kWh]

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

F 0

170

400

0

0

800

2000

200

0

0

0

0

F 1

F 2

F 3

F 4

F 5

F 6

F 7

F 8

2022 年度(実績)

2023 年度(計画)

2024 年度(計画)

合計
液体[kL]、
気体[10×3Nm³]、
固体[t]、
電気[10×3kWh]

年度間燃原料使用量
液体[kL]、
気体[10×3Nm³]、
固体[t]、
電気[10×3kWh]

年度間燃原料使用量
液体[kL]、
気体[10×3Nm³]、
固体[t]、
電気[10×3kWh]

G 0

3570.0

5000.0

5000.0

G 1

G 2

G 3

G 4

G 5

G 6

G 7

G 8